

公と私を結ぶ

— 東南アジアから考える新しい共生のかたち —

王国における地域支配と植民地化、人々の移動と越境、宗教実践と進学熱に着目した6人の若手報告者が研究報告を行い、3つの共生に対する視座から、新たな東南アジア像と共生のあり方を探る。

- ①人を支配・管理しようとする公権力と、柔軟に対応しつつより良い生き方を模索する人々の共生。
- ②歴史学、人類学、社会学など、ディシプリンの枠組みを越えた研究分野の共生。
- ③関西と関東、地理的な隔たりを超えた若手・中堅研究者の共生。

日時：2012年1月8日（日）午前10時～午後6時

会場：京都大学稲盛財団記念館 大会議室

主催：地域研究コンソーシアム(JCAS)、京都大学東南アジア研究所、
京都大学地域研究統合情報センター

共催：東南アジア学会関西例会